

慶應大学・経済学部

<慶應大学・経済学部 傾向と対策>

慶應義塾大の英語出題内容と対策 【経済学部】 マーク (90点) + 英訳・自由性作文 (110点) 試験時間 100分

2012年から安定！Topicは世相に敏感に反応したHotなもの！問題はパラグラフリーディングで対応可能な標準レベル。

		空所補充問題				内容把握 語義等	和文 英訳	自由英作文
		語句	前置詞	数字	文			
2016	第1問	6			1	2	会話	同姓婚(反対) ※語句整序問題1
	第2問	6				4		同姓婚(支持)
	第3問	5				5		強制投票 ※アクセント問題1
2015	第1問	6				5	会話	女性の大学進学率と社会進出
	第2問	5			2	1		移民受け入れ是非(賛成)
	第3問	3			1	7		移民受け入れ是非(反対)
2014	第1問	8	4	1	3	4	会話	不平等解消の政策の是非
	第2問	7			1	3		若者雇用改善政策

		空所補充問題				内容把握 語義等	和文英訳	自由英作文
		語句	前置詞	数字	文			
2013	第1問	6				4	会話 動物園廃止の是非 生物資源を財とすべきか	
	第2問	4				3		
	第3問	4				2		
2012	第1問	11			1	5	会話 秘密保持の費用対効果 生徒のプライバシー保護	
	第2問	8				4		
2011	第1問	3				2	Key word 選択	
	第2問	2				1		
	第3問	8				7		
	会話: テイバート				4	3		
2010	誤文訂正5題: 3文から誤りのある1~2文を選ぶ(6通りの可能性)						Key word 選択	
	誤文訂正長文2題: 1パラグラフの誤りの数を選ぶ(5通りの可能性)							
	第2問				5	12		
	会話					11		

		空所補充問題				内容把握 語義等	和文 英訳	自由英作文
		語句	前置詞	数字	文			
2009	第1問	5	タイトル選択1 / 誤文訂正4					ボランティア企画について 問題点と Solution を 論理的に述べる
	第2問	3				14		
	会話: テイベート	3				9		
2008	第1問					16	ボランティア参加者数を 増やすには？	
	第2問	6	各段落のタイトル選択3 / 誤文訂正 6					
	会話: テイベート					10		

【慶應大学経済学部合格へのカギ】

問題レベルは標準的なものがほとんど。出題形式は2012年度から変化し、自由英作文も長文の内容と関連した Opinion Writing となっている。問題レベルもセンター試験に毛が生えた程度の素直な問題ばかり。**長文量が多いが、一気に読むのではなく、パラグラフごとに解いていけば解ける問題ばかり。**内容に関する問題だけではなく、基本的な熟語、前置詞、語法などを長文の中で聞く問題が多い。**ただ、慶應大学は受験生に何の予告もなく出題形式を大きく変えることがあるので、他学部の問題や近年出題されなくなった問題形式にも対応出来るようにしておくべき。**

何故か経済学部は科目ごとの受験者平均を公表していないが、A方式では英(200のうちマークの90点分)数(150のうちの70点分)で、B方式では英(200のうちのマークの90点分)で一次選抜を行っている。ラインは年度によって変化するが、70%を超えていれば一応安心のライン。問題が法学部ほど難しくない分、自由英作文や和文英訳がある割に高得点が必要になるので、つまらないミスだけは絶対に避けたい。小論文も法学部に比べれば格段に易しい(2016年はやや難化)ので、時事問題に対する基礎知識や最低限の問題意識や論点についての知識があればそれほど恐れることはないレベル。また、インタビュー長文などの中で昔のセンター試験タイプの音声(文強勢)問題も出題されたことがあるが易しい。

慶應大学経済学部英語攻略の基本戦術は以下の通り。

長文問題

パラグラフリーディングが基本。一気に全部読んで記憶で解けるような量ではない。逆に、センター試験と同じ戦術で段落ごとに解答出来るので、小手先の速読術よりも、1文1文の正確な理解、基本的な語彙熟語の知識、最低限の背景知識が重要。

内容に関する問題では単純なTFに加えて、書かれていない（本文から正誤の判断が出来ない）という選択肢もあるので注意。中には悪問も出題されているが、出来る問題を確実に取ることが必要。

語彙問題

単独の出題は近年ないが、語彙力重視は法・商・理・医などで見られる慶應英語の特徴なので油断は禁物。ただ、法学部レベルの問題が出題される可能性はそれほど高くないと思われる。

- 会話・ディベート問題 2012年度からは姿を消しているが、過去問はしっかりやって備えておくべき。それぞれの話者の意見の要約や誰の意見なのか？を問う問題がほとんど。センター試験でも出題される形式なので英語が苦手な人はセンター試験レベルの問題演習から始めるのがお勧め。

- 和文英訳 2012年度から出題されるようになった。書かされる英文は Steady Steps to Writings 程度。ただ崩れた表現の日本語なので、和文和訳を丁寧に行い、文法エラーや基本単語の綴りミスをしないことが重要。

- 自由英作文 テーマだけを見ると難解に見えるが、長文の内容とリンクしているので以前よりは取り組みやすくなったはず。ただ、自由英作文が独立していた時代には自由英作文から始めることが出来たが、それが不可能になったので、解答時間を十分に取れるかどうかがかぎ。時間配分をあらかじめきちんと考えておくことが必要。

※ 和文英訳と自由英作文で配点が110/200！？記述の占める割合が高いが90点分のマーク突破がまずは鍵！

経済学部英語の難易度は見かけほど高くない。足切りラインを設けていることから、難易度の高い問題への対応力よりはセンター英語で9割を超える学力、GTECなどで高得点が出るタイプの英語学力を求めていると考えてよいだろう。ただ、最低限の教養がないと、簡単な問題が難問になってしまうことも少なくないので、英語学習だけではなく、日頃から経済に関する話題を中心に時事問題には関心を持つておくことが大切。

国公立志望者の併願先としては、特別な対策が不要な分、法学部よりは経済学部の方が向いていると言える。(もちろん、難しい問題で6割を超える学力があれば、どちらを併願しても問題はないが)また、慶應大学の経済学部は理系からの受験者も少なくない。数学が好きで数学の学力に自信があれば、英社の受験生よりは有利な条件で受験出来る(英数での足切りになる点・補欠合格で有利な点)。将来銀行や証券業界で数学の知識を活かしたい理系学生にもお勧めの学部。ただし、2016年入試より定員が削減されているので狭き門であることを十分に認識して望むべし。